



国立療養所 宮古南静園

【基本理念】

私達は、入所者の生命の尊厳と人権を守り
入所者が安心して療養できる環境を提供するとともに
より良い医療、看護・介護、福祉の質の向上に努めます。

病院紹介

宮古南静園は沖縄本島より南西部へ330km隔てた宮古島に位置する、わが国最南端の国立ハンセン病療養所です。目の前には青い海とリーフが広がる美しい環境下で、入所者への医療等の提供はもとより、入院・外来患者への保健診療も行っています。

【施設概要】

1. 所在地 〒906-0003 沖縄県宮古島市平良字島尻 888
2. 特徴 国立ハンセン病療養所
3. 診療科 診療科数 6 (内科・外科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科)
病床数 (医療法定床 100床 入院定床 94床)
4. 薬剤師数 (定数: 2名)
薬剤科長 1名、薬剤師 1名、薬剤助手 1名
5. 主な業務
(ア) 調剤 入院 2,270 枚/年、外来 65 枚/年 (院外処方率 88.8%)
(イ) 注射 入院 2,003 枚/年、外来 9 枚/年
(ウ) 薬剤管理指導件数 施設基準なし
(エ) 無菌製剤処理料 施設基準なし
(オ) 外来化学療法 施設基準なし
(カ) 病棟薬剤業務 施設基準なし
(キ) チーム活動 ICT (加算なし)、NST (加算なし)、褥瘡 (加算なし)
6. 特徴的な業務 入所者への服薬指導 (加算なし) を兼ねた居室への医薬品配達を行っています。
その他、以下のような行事にも参加し、療養の質の向上、地域との交流およびハンセン病啓蒙活動に努めています。
 - ・海岸清掃
 - ・秋祭り
 - ・慰霊祭
 - ・敬老祝賀会 等
7. 令和4年度の取り組み 入所者への薬学的支援として腎機能に応じた薬剤投与量の検討
8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	×

自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	×
クリーンベンチ	○

9. 国立療養所宮古南静園の組織目標

- (1) ハンセン病問題解決促進法等に基づき、将来のあり方（地域開放等）について、入所者等と十分な調整を行った上で、一定の方向性を策定（検討）する。
- (2) 高齢になった入所者一人ひとりが生きがいのある療養生活がおくれるようなサービス提供体制の維持・向上を図るために、積極的に生活を支援する計画を作成し推進する。
- (3) 入所者のハンセン病の後遺症及び高齢化による認知症や四肢の障害等が増加している現状を踏まえた医療・介護の充実のために、職員の研修・勉強会を開催し、施設内外の研修等への積極的な参加を促進する。
- (4) 施設・設備整備等の令和5年度予算について、施設・設備整備計画に基づき適正な執行を行う。
- (5) 入所者の現状を踏まえて、看護・介護サービス提供体制の維持・向上に応じた効率的な看護体制の検討。
- (6) 年次休暇の取得推進（取得率向上）。有給休暇取得時における、満足度の向上。併せて、超過勤務の縮減。
- (7) 園内の行政文書、行政文書以外の文書の残存状況を確認し、公文書管理法上における文書の整理を行い、「歴史的・文化的な資料」として管理・保管することが望ましい文書と区別をする。

国立療養所宮古南静園薬剤科の目標

- (1) 薬剤関連インシデントの防止・軽減
- (2) 入所者への服薬支援・服薬指導
- (3) 後発医薬品の使用推進
- (4) 医薬品在庫管理の徹底
- (5) 働きやすい職場環境作り
- (6) 科内員の研修、自己研鑽
- (7) ポリファーマシー対策